



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

№6

発行日 平成30年6月22日

発行者 校長 佐藤吉宏

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん

体験を通して学ぶ

遠足（1～4年）、尾瀬学習（5年）、修学旅行（6年）

当校では6月に、各学年が学校を出て自然や史跡等に触れて学ぶ機会を作っています。

遠足 6月8日（金）1年生・2年生 小出公園

ヤッホー 学校に届くかな



今年は学校から伊勢島を通り魚野川沿いを歩いて小出スキー場を目指すコースでした。お天気がよく少し暑い日でしたが、川風が気持ち良いコースを元気に歩き通しました。公園で元気に遊び、ボランティアで参加してくださったお家の方々と輪になって楽しく昼食を食べました。

3年生・4年生 板木城趾

中学年は恒例になっている板木城趾から金毘羅様への山道を歩くコースへのチャレンジでした。板木城趾への上りは、結構な傾斜があり大変なのですが、探検気分もあり元気に声を掛け合い上りました。心配された毛虫の大発生も終息しており、楽しい登山となりました。

**虫野老人クラブ常磐会様、大浦森林組合様、板木有志の皆様
山道整備 ありがとうございました**



きれいに整備された山道を歩く

6月4日（月）に板木城趾から金毘羅様一帯の山道整備が行われました。伊米ヶ崎共和国の準備会で伊米ヶ崎小学校の遠足のことが話題になったことをきっかけに、遠足前に合わせて3地区が協働して整備を進めてくださいました。大変ありがとうございました。刈り払って歩きやすくなった山道を子ども達は安心して歩くことができました。地域の皆さんも初夏のトレッキングは如何でしょうか。

修学旅行 6年生 6月11・12日 上越～佐渡島内～新潟 相川泊



金生産の遺構を背に記念の1枚

金山の島佐渡へ6月11日から1泊2日の修学旅行。帰校後、子ども達にインタビューすると、お薦め料理は「かに」、乗り物で楽しかったのは「フェリー」、見学地で心に残った場所は「北沢浮遊選鉱場跡」と返ってきました。もちろん他のことが大切な思い出となっている子ども達もいます。心配された天気も何とか持ちこたえてくれて、初めて目にするもの、初めて体感すること、すべての体験活動を実施でき、実り多い旅となりました。

5年生 尾瀬学習

沼山峠から尾瀬沼 尾瀬沼泊

大江湿原から尾瀬沼へ



今年の尾瀬教室は尾瀬沼中心に自然学習をじっくり行うコースで実施しました。1日目は天候に恵まれ、時間をかけてしっかり観察ができました。奥只見湖の湖上からは、普段雲が広がりなかなか山頂が見えない荒沢岳もくっきりと見えていました。大江湿原には立山りんどうが満開で咲き誇っていました。しかし、2日目は残念ながら雨の尾瀬となりました。沼尻までの行程はずっと雨の中でした。それでも昼食後に沼山峠へ向かう頃には雨もあがり、最後に峠の展望台から尾瀬沼を眺めることができました。

おはようございます



学校のあちこちであいさつの声

あいさつ運動

今年のあいさつ運動は立つ場所を広げ、あいさつする機会を多くするように変えました。保護者の皆さんにも、玄関や校門、交差点、通学班の集合場所等で実施していただきました。期間中、子ども達

の声にいつもより張りがありました。これまで声が少ししか聞こえなかった子の声もはっきり聞こえてきました。「普段から、自然に」が大切です。この運動で見られたよさを続けていけるように、これからも声掛けをしていきます。どうぞ家庭・地域でも引き続きお声掛けをお願いします。私も「あいさつ、お礼、お詫びは自分から」を実践していきます。

体力テスト 体力課題は何か？

毎年、1学期に体力テストを実施しています。体力課題を把握するために行い、その課題解決に向けて取り組んだ成果を翌年のテストで評価します。近年、子ども達の健康状況について心配する声が多くあります。同時に体力の低下も心配されています。どれも外遊び・集団遊びの減少が背景にあります。また、運動能力の発達には二極化の傾向があり、憂慮される傾向だと言われています。運動する子としない子、その差がより大きくなっていることが考えられます。当校でもその傾向が見られます。学校での運動機会は児童間にそれほど大きな差がありません。しかし、スポーツ少年団への参加を含め、家庭・地域では環境の差が大きくなります。また、外遊びについては、近くに遊び友達がいないという少子化の問題が表れているとの指摘があります。このことは学校評議員会でも大きく話題に挙げられています。子ども達の経験不足や体の使い方が未発達であることは、脳の発達にどう影響するのか、脳科学や歯科、眼科や機能障害研究の分野からも考えていくことが大切だと健康診断に来ていただいた皆様からご意見をいただきました。昔からある「健全な精神は健全な肉体に」「かわいい子には旅をさせろ」の中身を科学的に関係づけて考えることが必要かと思えます。子どもたちの健やかな成長を目指すために、体力テストの結果と課題、そして取組の重点等については、今後学校だより等でお知らせしていきます。



どこまで跳べるか 立ち幅跳び